

タンポポは古代から母の薬といわれ、 産婦人科で名薬として使われてきました。

大阪大学医学部における研究

タンポポT-1成分には脳下垂体の卵胞刺激ホルモン(FSH)、黄体化ホルモン(LH)の分泌の調整作用、毛細血管における血流促進効果があります。タンポポT-1成分は卵胞の発育を高め、子宮内膜の血流を促進して着床しやすい状態にしますので、妊娠率を上げる効果が期待できます。

1997年11月に第15回ライフサイエンスで発表されました。



生理不順

■20歳女性

高校の時から生理が不順でした。2年前に彼氏ができましたが、将来の結婚と妊娠のことを考えると心配になり、婦人科へ行ったところ、卵巣の発育が不全と言われました。1年間ホルモン療法を受けたのですが、のぼせ・イライラ・便秘などの副作用に苦しみ、効果もありませんでした。タンポポT-1を半年間飲みました。味もわるくないし、今までは生理が40日周期できちんと来るようになりました。

■46歳女性

生命保険会社で10年間働いています。1年前から生理が予定より早く来るようになりました。月に2～3回生理になることもあり、その為貧血になっていました。

病院では更年期ではなく、ストレスによるものだと言われ、漢方薬とタンポポT-1を飲み始めました。出血は止まり、ヘモグロビン値は少しずつ改善しました。オシッコの出がよくなり、足のむくみも取れました。現在は元気でバリバリ仕事をしています。

不妊症

■35歳女性

不妊治療のために、関西にある病院を数多く訪れました。体外受精を希望していましたが卵胞の発育が悪く、また子宮内膜の増殖も悪い状態であると言われてできませんでした。長期間にわたる排卵誘発剤の投与やホルモン療法で体と卵巣が疲れてしまっていたのです。タンポポT-1は体内ホルモンのバランスを調整し体内を解毒する事も期待できるということで、タンポポT-1を使用しはじめました。3ヶ月後には卵胞が大きく発育し、その月に妊娠しました。

■31歳女性

長女を出産して5年たちましたが、なかなか2人目を妊娠しないので、3年間不妊治療を行いました。体外受精を勧めれましたが、60万円もかかることで経済的な理由でできませんでした。タンポポT-1を使用して5ヶ月間治療をしたところ妊娠し、男の子と女の子の双子が生まれました。タンポポに感謝しています。